

私は、公明党を代表して、ただいま議案となっております議案第1号令和5年度野田市一般会計予算並びに議案第2号から議案第5号までの令和5年度各特別会計予算4件及び議案第6号令和5年度野田市水道事業会計予算並びに議案第7号令和5年度野田市下水道事業会計予算につきまして、全ての議案に賛成の立場で討論いたします。

内閣府発表の令和5年度政府経済見通しによりますと、昨今の日本経済は、コロナ禍からの穏やかな持ち直しが続く一方で、昨年2月のロシアのウクライナ侵攻に端を発した世界的なエネルギー・食品価格の高騰や世界経済の減速の影響が見込まれるものの、令和4年10月に閣議決定された物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策の効果が本格化し、人への投資や成長分野における官民連携の下での投資が促進されることから、実質成長率で1.5%程度、名目成長率で2.1%程度の民需主導の成長が見込まれています。

主な政府経済財政政策としては、民主導での成長力の強化と地域の中小企業を含めた構造的な賃上げを目指し、人への投資の抜本強化を図るほか、サプライチェーンの再構築や企業事業所の国内回帰等、国内での投資を促進し、輸出拡大の推進と併せて経済構造の強靱化に努め、半導体等の重要物資の安定供給の確保や先端重要技術の育成等で経済安全保障の推進及び食料安全保障、エネルギー安全保障の強化を図る政策を掲げています。併せて子供、若者、子育て世帯への支援等による少子化対策、子供政策の充実や地方活性化に向けた基盤づくり、防災、減災、国土強靱化等の国民の安全・安心確保の政策のほかに、地政学的緊張が続く東アジア地域での安全保障環境の変化等に対応できる機動的で力強い新時代リアリズム外交の展開を政策に掲げています。

そのような情勢の下、野田市令和5年度予算編成に当たっては、一般会計では、522億7,500万円、対前年度当初予算比1.7%減であります。新型コロナウイルス感染症対策費を除いた通常予算としては過去最大の予算規模となっております。これは歳入においては、根幹である市税がコロナ禍前の税収まで回復する見込みとなったほか、原資となる国税の伸びにより地方交付税が大幅増となり、物価高騰や円安の影響により地方消費税交付金も増となるなど、市税等の一般財源総額が伸びたことが要因となっております。

しかしながら、歳出においては、原油価格・物価高騰の影響が大きく、各公共施設の電気料金、ガス料金等が大幅増となっただけでなく、そのほかの経費にも影響を与える結果となっております。

また物価高騰等の影響を踏まえた保険料の据置きに伴い、国民健康保険特別会計繰出金が増加するなど、必要な一般財源の確保が非常に厳しい予算編成となっている中で、国の子育て支援政策の方針と連動して野田市独自施策のあかちゃんお祝い金の創設や子ども医療費助成の拡充等、元気で明るい家庭を

築ける野田市の実現に向けた施策を可能な限り盛り込んだ予算案となっていることを評価いたします。

またこの予算策定は、野田市の将来を見据えて必要な部門に予算を重点配分するために、既存事業の聖域なき見直しを行い、真に必要な事業を見いだすという基本方針の下に策定された結果であるとも評価いたします。

次に主要な予算事業項目の評価要因について述べますと、まずは、国を挙げて取り組んでいる少子化対策としての子育て支援施策の充実であります。

これには、野田市独自施策である赤ちゃん誕生時に一人10万円を支給するあかちゃんお祝金や東葛地域唯一である0歳から中学3年生までの医療費自己負担金を完全無料化する子ども医療費助成の拡充並びに経済的困窮世帯の児童生徒への就学援助金の拡充や第3子以降の学校給食無料化等、子育て支援に大いに効果のある施策として評価いたします。

次に教育環境の整備・充実であります。

小学校児童用トイレの100%洋式化を目指しての小学校トイレ改修事業、私立幼稚園要配慮幼児等教育支援事業補助金、私立幼稚園教諭就労奨励金及び就労促進家賃補助金、学校図書館司書配置事業等、未来を担う子供達の適切な教育環境を整える施策として評価いたします。

さらに健康スポーツ文化施策の推進であります。

子供から大人まで全ての市民がスポーツや文化活動を通じて人間力の向上を図り、スポーツ、文化活動を通じた人づくり、まちづくりを推進するための健康スポーツ文化都市宣言に関して評価するとともに、各スポーツ施設、スポーツフィールドの改修、整備を行うほか、文化施設としての鈴木貫太郎記念館再建に向けた諸活動に対して評価いたします。

また市民の方の利便性向上のためのおくやみコーナーの開設、公共施設公衆無線LAN整備事業並びに脱炭素化社会に向けての時代の潮流となっている電気自動車を、令和2年2月に公用車に初導入したのに続き令和5年度に増車する予算策定に関しても評価いたします。

その他特別会計予算につきましても、それぞれの事業目標に沿った予算編成となっており、適切であると評価いたします。

また水道事業会計及び下水道事業会計におきましても適切であると評価するとともに、水道事業に関しては、今後とも徹底した企業努力で安全で安心できる水の供給に全力で取り組んでいただきますよう要望をいたします。

最後になりますが、今後とも地方創生の主役である人が希望を持ち、いきいきと暮らせるまちづくりを行うといった視点に立ち、公平性、透明性の確保された無駄のない野田市の予算執行を要望して賛成討論といたします。